

第350号 2014年 3月 14日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

**2014年弘前大学白神研究会積雪期観察会
白神山地スノートレッキング ～堅雪の里山を散策しましょう～ 開催のお知らせ（再掲）**

1. 日 時： 2014年3月15日（土）10：00～14：00（雪・雨天決行）
2. コース： ミニ白神
（青森県西津軽郡鱒ヶ沢町深谷町矢倉山1-26）
3. 集 合： ミニ白神入口駐車場
※但し、当日は中村川からの道は通行止めだと思います。
赤石川沿いの県道190号線からしか入れませんのでご注意ください。
（お車のない方はお申し出ください。8：30弘前大学正門集合です）
4. 対 象： 小学4年生以上（小中学生は保護者同伴）
※雪の中を4時間ほど歩きますので、高血圧、心臓疾患など持病のある方は、
医師にご相談の上ご参加ください。
5. 参加可能人数： 20名
6. 参加費用： 1,000円（テキスト・傷害保険代金）
7. 服装・装備： 服装はスキーウェア。足は長靴が最適。
オーバーズボンあるいはロングスパッツがあるといいです。
かんじき・スノーシュー（ない方はお貸しします）。スキーのストック。
お弁当、暖かい飲み物。
8. 主 催： 弘前大学白神研究会
9. 申 込： 弘前大学白神自然環境研究所までお問い合わせください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所 中村・山岸
TEL・FAX：0172-39-3707、3706

弘前大学人文学部最終講義のお知らせ（再掲）

弘前大学人文学部国際社会講座の 長谷川 成一 教授（附属図書館長・資料館長・人文学部副学部長）は今年度末をもって退職されます。
つきましては、下記のとおり最終講義を開催いたしますので、ご案内申し上げます。
みなさまのご来場をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年3月15日（土）15：00～17：00

2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
3. 対 象： 本学教職員、学生等どなたでもご参加いただけます。
※聴講自由・事前申込不要です。
4. 演 題： 「私の近世史研究」

※また、当日18:00から、ベストウェスタンホテル ニューシティ 弘前にて「退職記念の会」を行います。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学人文学部国際社会講座 荷見 守義
TEL・FAX：0172-39-3237
E-mail: hasumim@cc.hirosaki-u.ac.jp



第1回雇用法研究会&意見交換会 in あおもり開催のお知らせ(再掲)

弘前大学大学院人文社会科学研究所が青森県社会保険労務士会・鹿児島県社会保険労務士会と共催する「第1回雇用法研究会&意見交換会inあおもり」を下記の日程で開催します。社会保険労務士の業務内容や労働法制に興味のある方はもちろんですが、大学院教育改革に関心のある方にとっても興味深いお話が聞けるとおもいます。是非ご参加ください。

1. 日 時： 2014年3月17日(月) 10:30～18:00
2. 場 所： アソベの森いわき荘 会議室
(弘前市大字百沢字寺沢28-29)
3. 対 象： 本学学生、教職員、一般の方等どなたでも
4. 参加料： 無 料

5. プログラム：

第1部 意見交換会：

社会保険労務士と大学や大学院の活用(10:30-12:00)

- 問題提起： 川口俊一(鹿児島県社会保険労務士会長)
「法科大学院で学ぶ社会保険労務士」
- 状況報告： 今井正浩(弘前大学大学院人文社会科学研究所長)
「大学の再定義と外部からの刺激」
- 状況報告： 葛西一美(青森県社会保険労務士会長)
「研究大学院でなにを学ぶべきか」
- 問題提起： 米田憲市(鹿児島大学大学院司法政策研究科長)
「新しい研究大学院と士業との関係」
- 意見交換： [司 会] 羽瀧一代(弘前大学人文学部)

第2部 雇用法研究会：

高等教育研究組織の活用の成果と実務投影の課題(13:30-18:00)

- 油川安孝(弘前大学大学院人文社会科学研究所修了)
「非正規労働者管理の就業規則」

雇用法研究会&意見交換会のご案内

大学や大学院を雇用して社会保険制度や雇用形態を学習研究し、それを業務に適用しようとする社会保険労務士が増えています。机上では青森県社会保険労務士会会報の「社会保険労務士」に、近畿地方の労働大学で雇用形態の調査報告が掲載されています。最近、北海道社会保険労務士会会報にも掲載されています。また、青森県社会保険労務士会は、近畿地方で開催される労働法研究会を開催し、労働法研究会の発展に貢献することを目的として、本学や大学院で雇用法研究会を開催する取り組みを行っています。

第1回 雇用法研究会&意見交換会 in あおもり
2014年3月17日(月) 10:30-18:00
アソベの森いわき荘 会議室(弘前市大字百沢字寺沢28-29) 会場
第1部 意見交換会：社会保険労務士と大学や大学院の活用
10:30-12:00(1時間半)
1. 問題提起：川口俊一(鹿児島県社会保険労務士会長)「法科大学院で学ぶ社会保険労務士」
2. 状況報告：今井正浩(弘前大学大学院人文社会科学研究所長)「大学の再定義と外部からの刺激」
3. 状況報告：葛西一美(青森県社会保険労務士会長)「研究大学院でなにを学ぶべきか」
4. 問題提起：米田憲市(鹿児島大学大学院司法政策研究科長)「新しい研究大学院と士業との関係」
5. 意見交換：司会 羽瀧一代(弘前大学人文学部)

第2部 雇用法研究会：高等教育研究組織の活用の成果と実務投影の課題
13:30-18:00(4時間半、途中休憩15分)
1. 問題提起：油川安孝(弘前大学大学院人文社会科学研究所修了)「非正規労働者管理の就業規則」
2. 問題提起：米田憲市(鹿児島大学大学院司法政策研究科長)「新しい研究大学院と士業との関係」
3. 状況報告：川口俊一(鹿児島県社会保険労務士会長)「法科大学院で学ぶ社会保険労務士」
4. 問題提起：川口俊一(鹿児島県社会保険労務士会長)「法科大学院で学ぶ社会保険労務士」
5. 意見交換：[司 会] 羽瀧一代(弘前大学人文学部)

主催：青森県社会保険労務士会、鹿児島県社会保険労務士会
共催：弘前大学大学院人文社会科学研究所
協賛：鹿児島大学大学院司法政策研究科、雇用形態研究会
参加料：無料
参加申込：青森県社会保険労務士会事務局(電話：017-779-9179)で事前申し込み下さい。会場までお越しの際は、下記に。



2. 葛西一美（青森中央大学大学院地域マネジメント研究科修了）
「労災（混合）保険試論」
3. 保崎賢（鹿児島大学大学院人文社会科学研究科）
「労災保険特別加入制度の課題」
4. 川口俊一（鹿児島大学大学院司法政策研究科）
「懲戒処分 of 内部審査手続再考」
5. 石神啓介（鹿児島大学大学院司法政策研究科）
「障害者雇用促進助成システムの問題点」

6. 申込：学内の方は、下記「問い合わせ先」にメール等でお申込みください。

7. 主催：青森県社会保険労務士会、鹿児島県社会保険労務士会

共催：弘前大学大学院人文社会科学研究科

後援：鹿児島大学大学院司法政策研究科、雇用構築学研究所

※当日、研究会終了後、同会場で懇親会が行われます。参加を希望される方は、下記「問い合わせ先」にお問い合わせください。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 平野 潔
TEL：0172-39-3199
E-mail：k-hirano@cc.hirosaki-u.ac.jp

**平成25年度弘前大学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業研究成果発表会
開催のお知らせ（再掲）**

弘前大学と弘前市との連携事業の一環として「弘前大学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業」を行っています。これは様々な地域の課題に対応するために、まちづくりや地域づくりに関したテーマで調査研究を行うものです。本年度取り組んでいる調査研究の成果発表会を開催します。

1. 日時：2014年3月18日（火）14：00～17：00頃
2. 会場：ヒロロ 4階 弘前市民文化交流館ホール
（弘前市駅前町9-20）
3. 対象：本学学生、教職員、弘前市民、一般の方
4. プログラム：

研究1：「津軽地域における高齢がん患者を対象とした地域医療連携システムの構築」
代表研究者 保健学研究科 助教／北嶋 結

研究2：「赤倉を中心とした民間信仰に関する調査
－「スピリチュアル」な観光資源の活用を目指して－」
代表研究者 教育学部 講師／安達 知郎



研究3：「農村の多面的機能を踏まえた農地の利活用促進方策の検討」

代表研究者 農学生命科学部 准教授／藤崎 浩幸

研究4：「外部人材を通じた地域再生アクション・リサーチ」

代表研究者 地域社会研究科 准教授／平井 太郎

研究5：「弘前市における若年層の地域移動」

代表研究者 人文学部 講師／日比野 愛子

5. 参加料： 無 料

6. 申込方法： 電話、FAX、E-Mailのいずれかで、氏名（必須）・電話番号(必須)・所属団体名をお知らせください。

7. 主 催： 弘前市・弘前大学

申込み・問い合わせ先： 弘前市経営戦略部行政経営課

TEL：0172-40-7021

FAX：0172-35-7956

E-mail：gyoseikeiei@city.hirosaki.lg.jp

弘前大学被ばく医療総合研究所「特別講演会」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学被ばく医療総合研究所では、米国ウッズホール海洋研究所のケン・ブエッセラー博士を講師にお迎えし、特別講演会「福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の海洋への影響」を開催します。

ケン・ブエッセラー博士は、大学院生の時に行った核兵器開発や大気圏核実験で大西洋に残留していたプルトニウム同位体の研究や黒海などでのチェルノブイリ原子力発電所事故による放射性物質の拡散に関する研究以来、一貫して海洋における放射性物質の動態研究を行ってきました。福島第一原子力発電所事故後も直ちに日本と国際共同研究チームを組織し、調査航海を行って沖合での貴重なデータを収集しています。その結果は、国際的学術誌のScienceなどに報告されています。

今回、日本学術振興会短期S外国人招へい研究者（ノーベル賞級の国際的な賞の受賞者など、特段に優れた業績をもち、当該分野で現在も指導的立場にある外国人研究者）として来日し、日本各地で第一線の研究者達との研究交流や講演会などを行います。

1. 日 時： 2014年3月18日（火）17:30～18:30

2. 会 場： 弘前大学医学部 コミュニケーションセンター

3. 対 象： 本学学生、教職員、一般の方
※事前申込は不要です。

4. 講 師： 米国ウッズホール海洋研究所
海洋環境放射能センター長
ケン・ブエッセラー博士

5. 演 題： 「福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の海洋への影響」

6. その他： 当日は英語での講演となりますが、一般の方にもご理解いただけるような内容で、ゆっくりとしたスピーチを予定しておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。



※入場無料です。

問い合わせ先： 弘前大学被ばく医療総合研究所 事務室
TEL・FAX：0172-39-5504
E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://www.irem.hirosaki-u.ac.jp/

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

李 永俊・渥美公秀 監修 作道信介・山口恵子・永田素彦 編集
「東日本大震災からの復興(1) 想いを支えに ―聴き書き、岩手県九戸郡野田村の震災の記録」
(A5判、244頁、定価 本体2,800円＋税) を出版しました。

～紹介文～

「今、こうやって振り返ってみて、娘や孫たちにしゃべっておかなければいけないと思ったのは、この恩返し。世の中の人たちに。」

本書は、岩手県九戸郡野田村の住民による東日本大震災の経験を「聴き書き」した記録である。震度5弱の揺れに襲われた野田村には、大津波が押し寄せ、全世帯の約3割の家屋が被害を受けた。この未曾有の経験とはどのようなものであったのか、またそれ以前の村の暮らしはどのように営まれていたのか、そして人々はこれからの未来をどのように思い描くのか。本書にはこうした、年代も性別も異なる19人の野田村民のさまざまな語りや、聴き取り者とのやりとりを含めて、まとめられている。筆舌に尽くしがたい震災の様子を、ときに涙しながら、後世のためになるならば、とお話をしてくださった。野田村はもちろんのこと、多くの被災地の復興に向けて、また次世代の子どもたちへの教訓としても、本書が寄与するところがあれば幸いである。



また次世代の子ども

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
TEL：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX: 39-3498、内線: 3029